

# 美祢市議会議長

秋山 哲朗



美祢市民の皆様、明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい平成23年の新春を、ご家族おそろいでお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また皆様には、日頃から市議会に対し、温かいご理解と、絶大なご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、七月の豪雨災害により、市内各地に甚大な被害が生じ、改めて災害の怖さを知るとともに、早急に災害対策を講じる必要を再認識した次第であります。

さて美祢市は今年3月に合併4年目を迎えますが、議会も当初は、旧市町間の政策の違いもあり、議論のかみ合わないことも多々ありましたが、徐々に前向きな議論が多くなってきました。今後各常任委員会による他の類似団体の市議会への視察研修を通じて、より良い議会運

営になるよう努めたいと思っております。

私自身も多くの行事、会合イベント等にも参加し、多くの市民の皆様と接し、ご意見をお聞きして議会に反映をしたいと思いますので、ご意見等がありましたら、ご遠慮なくお聞かせ頂きたいと思っております。

さて、現政権においては、国と地方の依存と分配の関係を脱却し、それぞれの地域が活力を持ち、安全と安心、生きがいを実感できる地域社会を創っていくために、財源や権限の抜本的な見直しを進めようとしております。このことは、今後地方の行政運営にも変革をもたらすし、これまで以上に住民への説明責任、信頼確保が求められることとなりますし、私ども地方議会の果たす役割は、今後ますます重要になってまいります。

そうした中、懸案でありました次期市議会議員選挙の定数については、昨年3月議会に議員提案で定数条例案を提出し19人と決定しました。議員定数を検討しました議会運営委員会では、20人から18人の間の議員定数で様々な意見があり、慎重に協議を重ねた結果、美祢市は広大な面積を有する自治体であり、議員定数の急激な削減は、市民の声が市政に十分反映されないと危惧する意見などにより、19人と決定しました。

さらに、昨年6月より、議会運営委員会による議会改革勉強会を開催し、また議員研修会等への参加を重ねた後、10月に、私より議会運営委員会に、美祢市議会基本条例の制定を含む議会改革について諮問をいたしました。本委員会におい

て、11月中旬には、佐賀県嬉野市及び、長崎県大村市に行政視察を行い、現在、二元代表制のもとに美祢市の事務執行の監視機能及び議決機能を十分發揮しながら、地方自治の本旨の実現を目指す基本条例の策定準備のため、慎重・審議を行なっております。

この条例が制定されれば、議会の役割と責務に基づく美祢市の意思決定機能であることを自覚し、市民の福利のために活動を行い、政策立案能力の向上に努め、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会が今以上に可能となります。

そのほか、現在協議を行なっております活性化対策特別委員会並びに観光交流推進特別委員会においては、産業振興条例の制定や、総合観光振興計画の策定に伴い、これに沿った新たな政策を提言すべく調査・研究を進めたいと思っております。

結びに、政権交代により政治情勢は混迷を極めておりますが、私ども議会と首長部局は車の両輪といわれる中で、両者が適度な緊張感を保ちつつ、執行機関との連携を今まで以上に密にし、市民生活を安定させるべく議会運営に邁進する所存でありますので、景気低迷により多難な財政状況が続くと思われませんが、市民の皆さまの今後更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成23年が皆様方にとりまして輝かしい一年でありますようご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。

# 平成22年美祿市10大ニュース

皆さん平成22年はどのような1年でしたか。美祿市内でも色々な出来事がありました。平成22年の美祿市の10大ニュースを振り返ってみましょう。

## 3月

### 美祿東ジャンクション開通

美祿東ジャンクション(中国縦貫自動車道との連結部分から十文字インターチェンジまでの約600m区間)の工事が完成し、供用開始にあたり開通式が開催されました。

式は、十文字インターチェンジにおいて、二井知事をはじめ、多くの来賓の方々が出席され、開通を祝いました。

## 5月

### 山東省棗荘市において、棗荘市と「観光交流の促進に関する合意書」を調印

友好都市である中華人民共和国山東省棗荘市を美祿市友好行政訪問団(市長を団長とする9名)が相互の交流を推進するため5月に訪問しました。

合併前の美祿市と棗荘市は、両市とも石灰岩を産出するという共通点があることから、平成5年に友好都市協定議定書を締結して交流を続けていました。昨年、美祿市合



併1周年記念式典に合わせ、棗荘市からの行政訪問団をお迎えし、新美祿市として友好都市協定を締結しました。今回の友好行政訪問は、その答礼も兼ねて行われました。

### 秋篠宮さまが秋芳洞・秋吉台を視察

秋篠宮さまが秋芳洞・秋吉台を視察されました。

秋芳洞内では、説明に質問をされるなど熱心に聞かれました。秋芳洞をご覧になった後は、霧雨の舞う天候でしたが、展望台から秋吉台をご覧になり、壮大なカルスト台地の眺望を満喫されていました。

秋篠宮さまは忙しい日程でしたが、終始穏やかな表情で、市民の声に笑顔で応えられていました。

## 7月

### 7月15日豪雨災害

昨年の「中国九州北部豪雨災害」の被害の癒えぬまま、7月10日の降り始めから7月15日までの総雨量が588mmという記録的な豪雨が降り、特に市内西部に大きな被害をもたらしました。家屋、道路、河川、農地などへの被害箇所は数百箇所へのぼり、市民生活や地域経済に大きな打撃を与えました。

## 8月

### 子ども議会開催

子ども議会が開催され、市内の小学生21名が、より良い市にするために、市執行部に提案や質問をしました。

質問は、多方面に渡りましたが、市長は、子ども議員の質問に対して、分かりやすい言葉で丁寧に答弁していました。最後に「子ども議会議決書」が読み上げられ、市長に手渡されました。

### 病院シャトルバス運行開始

美祿市立病院と美東病院間の無料シャトルバス運行が、開始されました。これは、それぞれが役割を分担しながら2つの病院を1

つの病院として利用できるようにするためのものです。運行は火・水・木曜日に1日4往復して、外来受診、お見舞いや付き添いの人が乗車(無料)できます。

### 第45回全国都道府県対抗自転車競技大会

第45回全国都道府県対抗自転車競技大会のロード・レースが、大嶺町曾根をスタート・ゴールに開催されました。男子は38都道府県91名の選手が116km、女子は17府県27名の選手が66.7kmで、それぞれタイムを競いました。沿道で応援されていた人々は、選手のスピードとその迫力に驚いていました。



### 観光アドバイザーに國重友美さん就任

山口県出身の英漢字®書家の國重友美さんが観光アドバイザーに任命されました。就任に合わせて作成された新しい観光ポスターが披露されました。今後は、観光の各種パンフレットやポスターなどへのアドバイス、イベントの企画、パフォーマンスなどで参加されます。

## 10月

### 入山アキ子さんに美祿市ふるさと交流大使第1号を委嘱

市では、交流拠点都市の創造に向けて、美祿市にゆかりのある著名な方に、様々な機会を通じて美祿市の発信をしていただく「美祿市ふるさと交流大使」を設置しました。今回、その第1号として、当市出身の歌手である入山アキ子さんを委嘱しました。



## 12月

### 市長と語る未来創造まちづくり座談会開催

平成22年度、平成23年度の2カ年で「市長と語る未来創造まちづくり座談会」を市内全13公民館で開催します。その第1回が美祿市民会館で開催され、多くの市民が参加しました。

